

年頭の振り返り

南部町長 望月 秀次郎

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様には思いを新たに新年をお迎えの事と存じます。

昨年を振り返りますと、天皇陛下御即位二十年、天皇・皇后両陛下ご成婚五十周年という心弾む慶事がありました。一昨年から続く不況の嵐は治まらぬ心配もなく、デフレが日本経済に大きな影を落とし、政府や経済界の懸命な努力にも関わらず今なお、雇用環境改善の糸口さえ見えない状況が続いています。

昨年は、第四十五回衆議院議員総選挙において、政権が交代するという歴史的な年でありました。新たに誕生した民主党政権は、政治主導を謳い脱官僚の旗印の元に政権の舵取りをしていますが、日本の将来を見据え若者が夢と希望を持ち、お年寄りが人生経験の豊かさを発揮出来るような環境を整えられる事を願っています。
南部町の昨年を振り返りますと、三年に一度の見直しを前提に旧町間の水道料金の統一を図り昨年十月一日より新料金体系に移行しました。これにより総ての公共料金が統一のものとなりました。また、国民健康保険税、介護保険料の改定も行いましたが会計の健全運営に向けて皆様のご理解と協力をお願い申し上げます。
合併後の主要事業でありました町道楮根南部線が四月二十二日に供用開始となり南部地区と富沢地区を結ぶ道路として車の通行は元より、ウォーキングやジョギングと町民の皆様にご利用されております。さらには、地域情報推進事業も皆様の協力を得まして設計が終了し、平成二

十二年度から工事が開始されます。平成二十三年度末までの二年間の工事となりますが皆様のご協力をお願い申し上げます。また一方では、中部横断自動車道の工事も新直轄区間で着々と進められています。有料道路区間であります県境から富沢インターチェンジ(仮称)間でも昨年十一月に樽峠のトンネル工事が発注されました。今後とも地権者の皆様、地域の皆様には、用地提供、工事用道路の建設等何かとご協力をお願いしながら進めさせていただきます。南部町の将来の為に協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

町民の皆様から要望が寄せられておりました町歌の制定も、一年三ヶ月の月日をかけ昨年十一月一日に制定し、発表会を開催いたしました。町歌制定委員の皆様にご心から感謝申し上げますと共に、この町歌が町民の皆様や南部町に縁のある皆様の心のよすがとなり、折にふれ、時にふれ、口ずかされることを願っております。

「なんびの湯」「奥山温泉・グリーンロッジ・青少年旅行村」は指定管理者制度の導入に取り組んでまいりましたが、「なんびの湯」は御「アー」又静岡、「奥山温泉等」は、大新東「ユーマンサー」に入札決定し、本年四月一日より経営を委ねる事になりました。行政とは違った民間でのサービスの下で従来にも増して町内外の皆様にご利用下さることを願っております。

教育関係では、平成十九年八月に教育委員会から「南部町立小中学校規模等検討委員会」に諮問された「小中学校適正規模」の問題につきまして平成二十年十一月に答申が提出されました。

その後、教育委員会において更に検討を重ね平成二十一年三月に(町長) 具申書の提出を受けました。この具申書の内容に則りPTAの皆様、地域の皆様、学校統廃合地域検討委員の皆様のご意見をいただき現在ある中学校は廃校とし平成二十三年四月一日に新たな中学校一校に統合設置すること、小学校につきましては、平成二十五年以降に検討するという方針を決定致しました。今後は、議会のご審議をいただきますが議決されましたら皆様との話し合いの折に提案されました諸々の環境整備につきかりと取り組んでまいりたいです。

南部町の将来を背負って立つ児童生徒にとってより良い教育環境のあり方という大きく重い課題に取り組んでいただきました検討委員会委員の皆様、PTAの皆様、地域住民の皆様、地域検討委員の皆様にご心から感謝申し上げます。

最後に、昨今は地方での医師不足が社会問題となつていますが、町が実施しております健康診断は必ず受診していただき、自分の健康は自分で守るという思いを強く持つて下さるようお願い申し上げます。

政府が交代し、時代が大きく変わる中、渦中ではありますが、行政に課せられた永遠の課題であります行財政改革に引き続き取り組むながら、今年も安全で安心して暮らせる南部町を目指し、町民の皆様の身近な問題にも迅速に対応していくことをお誓い申し上げます。本年が南部町にとっても町民の皆様にとってもより良い年になりますようにご祈念申し上げます。